

トムス RAV4 サイドドアガーニッシュ

このたびはトムス サイドドアガーニッシュ(以下サイドドアガーニッシュ)をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取り付け方法を以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、弊社技術までお問い合わせください。
本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(2019年10月現在)

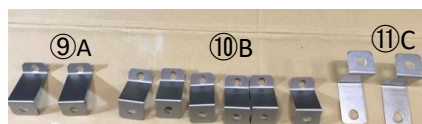
トヨタ RAV4 MXAA54/AXAH54(除くAdventure,X,HYBRID X) 2019年4月～トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。

取り付け上のご注意 以下の注意を必ず守るようお願いいたします。

1. サイドドアガーニッシュ取り付け作業は、必ず作業員2名で行ってください。
2. サイドドアガーニッシュ脱落防止のため、取り付けボルト等はしっかり締めてください。また、走行前にゆるみがないかチェックしてください。**サイドドアガーニッシュが脱落した場合は、重大事故につながる恐れがあります。**
3. 車両をジャッキアップする際は、必ずリジッドラック等で車両を固定してください。
4. 塗装に際しては以下の点にご注意ください。(詳しくは「サイドドアガーニッシュ素地品の塗装手順」を参照の事)
ボディーコート塗布車両は、プライマーの接着力促進効果を発揮できない場合があります。プライマー塗布面のボディーコートは塗装用コンパウンド(細目以上)で剥離し、アルコールなどで拭き取り除去してください。
5. 両面テープの接着力は、気温15℃以下になると低下します。両面テープ及び接着面を加熱器等で温めてから貼り付けを行ってください。
6. 両面テープの接着力促進剤として、必ずプライマーを塗布してください。
7. 両面テープの接着力低下防止の為、本製品の装着直後(24時間以内を目安)の洗車を行わないでください。
8. 両面テープの貼り直しをすると接着力が極端に低下するため、貼り直しは行わないでください。
9. 純正用品及び他社製品との同時装着はできません。
10. サイドドアガーニッシュ装着により、オリジナルより地上高が約40mm低くなります。
11. 本製品は車両登録後の取り付けを前提としております。登録前に取り付けをする場合は持ち込み登録となります。

構成部品 本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等が無いことをご確認ください。

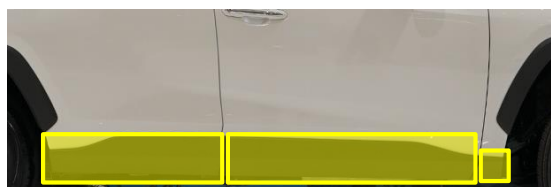
【サイドドアガーニッシュ構成部品】



- ①[1][2][3]サイドドアガーニッシュ(LH/RH) 各x1
- ②PAOプライマー x1
- ③カッティングシート x6
- ④タッピングスクリューM4x20 x8
- ⑤タッピングスクリューM4x16 x8
- ⑥ボルトM6 x10
- ⑦ナットM6 x10
- ⑧TOM'Sエンブレム x2
- ⑨ブラケットA x2
- ⑩ブラケットB x6
- ⑪ブラケットC x2
- ⑫ゴムワッシャー(3mm) x8
- ⑬ゴムワッシャー(5mm) x8



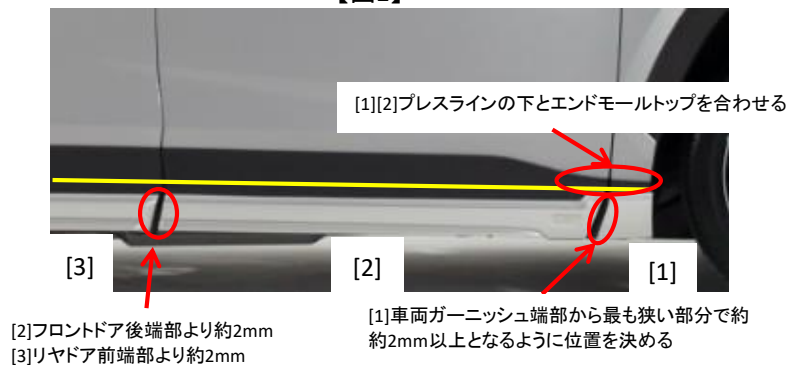
取付要領 本取り付け説明書は運転席側で説明を進めておりますが助手席側も同様に取り付けをお願いします。



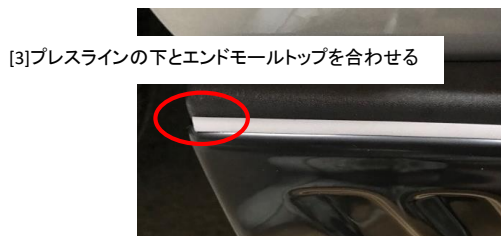
【図1】

1. 車両の下記取り付け部分のゴミ・ホコリをウエスにて除き、両面テープの貼り付け部(図1ハイライト部)の清掃を行う。

【図2】



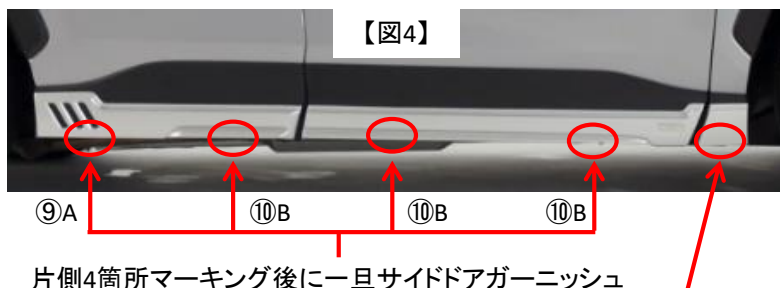
【図3】



重要

※必ず仮合わせを行った状態で前後ドアの開閉を行い、サイドアガーニッシュとの干渉がないことを確認する。

【図4】

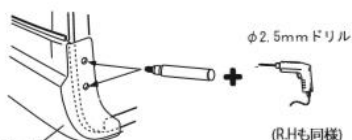


片側4箇所マーキング後に一旦サイドアガーニッシュを外して穴あけ



⑪ブラケットC取り付け箇所
※クリップは再使用します

【図5】

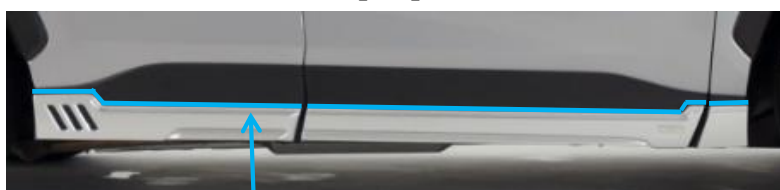


[1][3] サイドアガーニッシュ



⑪ブラケットC

【図6】



マスキング位置

2. 下記手順にて仮当てを行い、取り付け位置を確認し、マスキングテープ等にてマーキングを行う。

- [1] サイドアガーニッシュ・フロントフェンダー
- [2] サイドアガーニッシュ・フロントドア
- [3] サイドアガーニッシュ・リヤドア

アドバイス！

※[1] サイドアガーニッシュ・フロントフェンダーは車両ガーニッシュ後端部との位置が、最も狭い部分で2mm以上の位置で決める。高さはサイドアガーニッシュのエンドモールトップをボディプレスラインの下に合わせて位置を決める。(図2参照)

※[2] サイドアガーニッシュ・フロントドアはフロントドア後端部より約2mmの位置で決める。高さはサイドアガーニッシュのエンドモールトップをボディプレスラインの下に合わせて位置を決める。(図2参照)

※[3] サイドアガーニッシュ・リヤドアはリヤドア前端部より約2mmの位置で決める。高さはサイドアガーニッシュのエンドモールトップをボディプレスラインの下に合わせて位置を決める。(図2,3参照)

注意！

マーキングが正しく行われないとサイドアガーニッシュが正しい位置に取り付けられず脱落の原因となる。

- 3. ブラケットの穴位置を決めて車両サイドアウター面に穴位置をマーキングをする。(片側4箇所、図4参照)
- [2] サイドアガーニッシュ・フロントドア：2箇所
- [3] サイドアガーニッシュ・リヤドア：2箇所

- 4. [1] サイドアガーニッシュ・フロントフェンダー前方の取り付け穴位置をフロントホイールハウスにマーキングする。同様に[3] サイドアガーニッシュ・リヤドア後方の取り付け穴位置をマーキングする。(図5参照)

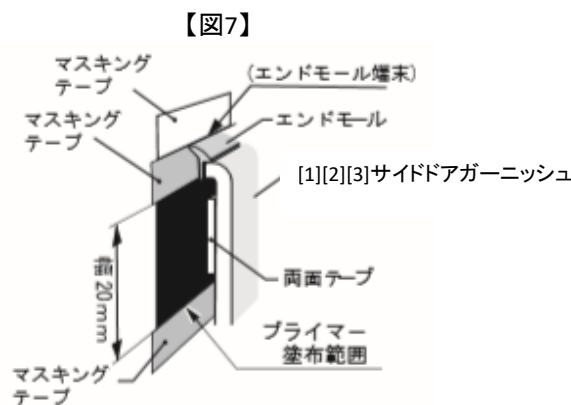
- 5. [1][2][3] サイドアガーニッシュのエンドモールトップに合わせてマスキングテープにてマスキングを行う。(図6参照)

- 6. 一旦[1][2][3] サイドアガーニッシュを取り外し、マーキング部分にドリルでφ2.5mmの穴を空ける。(図4,5参照)

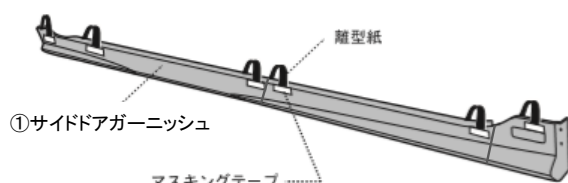
- 7. 下記手順にてブラケットの仮付けを行う。(図4参照)

- [1] サイドアガーニッシュ・フロントフェンダー：1箇所
⇒ ⑪ブラケットCを車両クリップを使用し車両サイドアウターに仮付けする。
- [2] サイドアガーニッシュ・フロントドア：2箇所
⇒ ⑩ブラケットBを⑤タッピングスクリューを使用し車両サイドアウターに仮付けを行う。
- [3] サイドアガーニッシュ・リヤドア：2箇所
⇒ ⑩ブラケットBを⑤タッピングスクリューを使用し前部の取り付け穴へ仮付けをする。
⑨ブラケットAを⑤タッピングスクリューを使用し後部の取り付け穴へ仮付けをする。

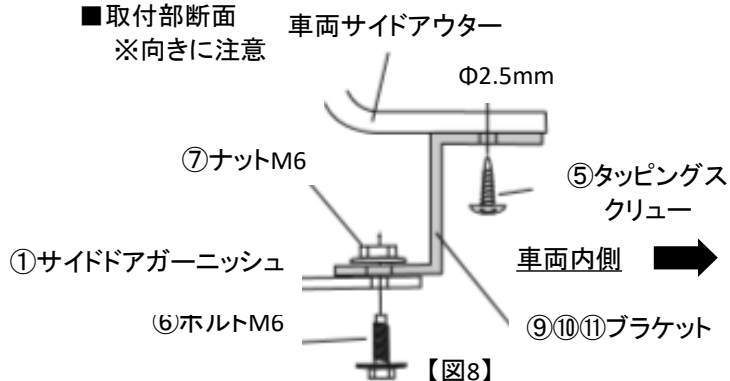
- 8. ① サイドアガーニッシュの取り付け部及び② PACプライマー塗布範囲を清掃・脱脂を行う。



【参考図】

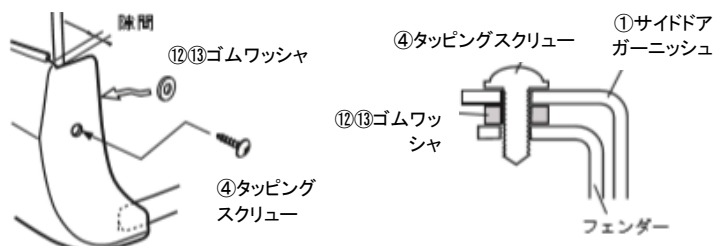


■取付部断面
※向きに注意



アドバイス！

[1][3] サイドドアガーニッシュのフェンダー部分と車両の間に隙間が発生する場合は⑫⑬ ゴムワッシャを挟み込んで取り付ける。



【図9】

9.①サイドドアガーニッシュの両面テープ貼り付け部を確認したら、②PACプライマーが塗布範囲以外に付着しないようにマスキングテープにてマスキングを行う。(図7参照)

10.②PACプライマーを塗布する。
プライマー塗布後は常温で10分以上放置し乾燥させてください。

アドバイス

※PACプライマー-N200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするかはみ出したプライマーはアルコール等で拭き取って下さい。

※ボディーコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼付け部分を塗装用コンパウンドで除去して下さい。

注意
プライマー使用に際しては、3M PACプライマー-N200取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間
ほこり、汚れ、水滴が付着しないようにし、十分に乾燥させる。
気温15℃以下では、加熱器を使用し温める。
塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

11.[1][2][3] サイドドアガーニッシュの両面テープ端部の剥離紙を参考図のように50mm程度剥がし、表側に折り返しマスキングテープにて留める。

12.[1][2][3] サイドドアガーニッシュをボディーに仮当てし、ホイールハウス部を④タッピングスクリュー、ブ

ラケットを⑥ボルトM6、⑦ナットM6で仮固定する。(図8,9参照)

13.全体のバランスを再度確認しモールドトップ部をマスキングテープに合わせ、両面テープ剥離紙を車両前方から後方に向かって引き抜きながら圧着する。

注意
両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下するため、ボディーに付かない様に気を付けて作業を行う。

注意
両面テープの圧着は、車両が少しゆれる程度〔49N(5kgf/cm)〕で行なう。
両面テープ貼り部全体をまんべんなく圧着する。

アドバイス！

※両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。
最低3時間程、静止時間をお取りください。

14.[1][2][3] サイドドアガーニッシュ仮止め部の⑥ボルトMを、⑦ナットM6、④タッピングスクリューを本締めする。
※フェンダーアーチ部に隙間がある場合⑫⑬ゴムワッシャにて調整をする。(図9参照)

注意

フェンダーアーチ部のタッピングスクリーを締めすぎると、破損、変形の原因となります。また、圧着された両面テープに隙間を発生させる原因となる恐れがあります。

【図10】



③カッティングシート貼り付け箇所

⑧TOM'Sエンブレム貼り付け箇所

- 15.[2]サイドドアガーニッシュ・フロントドアと[3]サイドドアガーニッシュ・リヤドアの凹部分を脱脂し、③カッティングシートと⑧TOM'Sエンブレムの剥離紙を剥がし貼り付ける。(図10参照)

(お問い合わせ先)

株式会社 トムス

TEL; 03-3704-6191

月～金 AM10:00～PM6:00

TOM'S

サイドドアガーニッシュ素地品の塗装手順

※素地品は塗装前に必ず仮取付けをして、各部に不具合がないか確認をしてください。

塗装後のクレームには応じません。

構成部品

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ①サイドドアガーニッシュ(LH/RH) 各x1 | ⑧TOM'Sエンブレム x2 |
| ②PACプライマー x1 | ⑨ブラケットA x2 |
| ③カッティングシート x6 | ⑩ブラケットB x6 |
| ④タッピングスクリュー-M4x20 X8 | ⑪ブラケットC x2 |
| ⑤タッピングスクリュー-M4x16 x8 | ⑫ゴムワッシャー(3mm) x8 |
| ⑥ボルトM6 x10 | ⑬ゴムワッシャー(5mm) x8 |
| ⑦ナットM6 x10 | ⑭エンドモール(ブラック) x2 |

※塗装、作業前に不足品がないか必ずご確認ください。

I. 塗装作業手順

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂をする。
2. サフェーサー処理を行う。
3. 塗装を行う。塗装乾燥の加熱温度は60度以下で行うこと。

注意！

60度以上の加熱は製品変形の恐れがある。

注意！

本製品はABS製品のため適切な塗料を使用する。

II. モール貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑭エンドモールを仮付けしアール部分にシワが発生するか確認する。
2. サイドドアガーニッシュのエンドモール貼り付け面を脱脂し、②PACプライマーを塗布する。
3. ⑭エンドモールの剥離紙を剥がしながら貼り付ける。
4. ④カッティングシートを貼り付ける

⑭エンドモール貼り付け部



(お問い合わせ先)
株式会社 トムス
TEL: 03-3704-6191
月～金 AM10:00～PM6:00

TOM'S